

学校だより(いしがき)

第 22 号 令和 3 年 11 月 19 日
文責 . 校長 石橋 節二 TEL 94-2038

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」

～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、後期総務認証書授与、3年生対象進学説明会並びにPTA主催進路激励会、3年生合唱コンクール、令和3年度後期生徒総会（活動の振り返りと引継ぎ式）、故事成語①「四面楚歌」、新聞語句、難読漢字、11月下旬～3月の主な行事予定についてです。

○令和3年度 後期総務認証書授与

11月1日(月)生徒朝会で令和3年度後期総務認証書を視聴覚室からのリモートにより行いました。代表で3年生総務2名に任命書を渡しました。

校長の話として、①前期総務の人たちへの慰労の言葉、②後期総務の役割(前期の土台の上に学年・学級の発展とまとめのけん引役)の確認とお願い、という内容の話をしました。

後期は、3年生は受験、2年生は生徒会や部活動、学校行事等でも学校の顔として、1年生は2年生を支えるとともに、やがて先輩となる準備等、学年それぞれ忙しくなるとは思いますが、よろしくお祈りします。また、リーダーを助けるフォロワーの存在が重要となります。生徒会は、全員が生徒会会員ですので、皆さんの協力を是非よろしくお祈りします。



○3年生対象進学説明会並びに PTA 主催進路激励会

11月4日(木)に、3年生と3年生保護者対象に進路説明会とPTA主催の3年生進路激励会を行いました。

昨年度の入試から私立高校は、保護者によるWEB出願となりました。また、一昨年から県立高校受検で特別選抜試験と一般選抜試験が導入されるなど、毎年、受験制度や方法が変わってきていますので、その説明や、これからの大まかな流れについて説明を行いました。

また、説明会終了後、PTA主催の3年生進路激励会を行いました。この会は、一昨年までは豚汁やうどん等を全校生徒にふるまわれてきていましたが、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年生とその保護者だけ体育館に集まり、これから受験に向けて粘り強く頑張りたいという願いを込めて、昨年に引き続き**綾部のぼた餅(3個入)**を配付しました。1,2年生は教室で受け取り、自宅で食べるように指示しています。

校長講話では、今月下旬の三者面談までに進路についてじっくり考え、そしてこれから頑張ってもらいたいという願いを込め、「高校や上級学校の進学はあくまで手段であってゴールではありません。将来、自分はどんな生き方をしたいか。そのためにどんな方法・道を選ぶか。同じ方法・道でもいろいろな通り方(手段)があります。自分の生き方をしっかり考え、話し合い、高校進学を考えて欲しいと思います。受験は大人になるためだれもが通る道です。それを乗り越え、一回り大きく成長する機会です。目標達成のためには当然、努力が必要となります。以前、学校だよりで佐賀新聞有明抄「桂小金治さん」の話を紹介しましたが、「**努力の上に辛抱という棒を立て**」これから**ぼた餅**のような粘り強い頑張りを期待します。」という話をしました。



【激励のぼた餅 贈呈】

○合唱コンクール

今年は、コロナ禍の影響で9月に合唱の練習ができず、文化発表会と切り離して計画をしました。3年生については、ここ最近コロナ感染が落ち着いていますので保護者の方々にも是非聞いてもらいたいと思い、11月4日(木)の進路説明会の折に開催しました。

1,2年生については、11月12日(金)に行いました。

写真は、3年生合唱の様子です。



【3年1組】



【3年2組】

【漢字よみ】 ①まじめ ②まゆつばもの ③ただいま ④こち ⑤はえ

○令和3年度 後期生徒総会

11月8日(月)6校時に、令和3年度後期生徒総会を行いました。今年度の後期生徒総会は、各部からの活動報告(各3分)、3年生役員の退任の挨拶、校旗受け渡し、新生徒会長の挨拶という内容でした。今年は、コロナ禍であることから集会行事はすべて視聴覚室からリモートで行っていますが、これまでの振り返りで画像を取り入れて紹介するなど、アイデアを凝らした取組を行ってくれました。

私が午後から不在だったので朝の全校朝会で、「令和3年度の生徒会は、中原中学校をよりよくするために、「Be Positive and try everything」を生徒会スローガンとして掲げ、全校生徒が積極的にまた何事にも挑戦できるように手助けをしていくという方針を立て活動してくれました。コロナ禍の中で体育大会やリモートによる集会行事(前期生徒集会・生徒会集会・文化発表会)を行ってくれました。なかでも、リモートによる文化発表会では、いろいろな場面を数多く紹介できる録画のメリットを最大限に生かしていたところなどとても印象的でした。新生徒会(1,2年生全生徒)の皆さんも先輩方のすばらしい伝統を受け継ぎ、そして残された課題に対してアイデアを出し合っただけでなくさらにこの中原中学校を発展させてくれることを期待しています。」という内容の話をしました。



【新生徒会長の校旗受け渡し】

○故事成語⑪

四面楚歌(しめんそか)

【意味】自分の周囲がみな敵であること

【由来】秦(しん)の国をほろぼした楚(そ)の国の項羽(こうう)が宿敵(しゅくてき)の漢(かん)の国の劉邦(りゅうほう)の軍に敗れて、包囲されている時に、深夜になって、劉邦(りゅうほう)に味方する將軍の韓信(かんしん)が漢軍(かंकん)に楚の国の歌を歌わせた。それを聞いた楚(そ)の国の項羽は楚(そ)の国の兵が降伏してしまったと思い、絶望(ぜつぼう)してしまったことから、この語ができました。
(史記)

○新聞難読・難解語句

割愛：惜しいと思うものを、思いきって捨てたり、手放したりすること。文化庁調査では、本来の意味ではない「不必要なものを切り捨てる」で使う人が65.1パーセントという逆転した結果が出ている

前人未踏(ぜんじんみとう)：今までだれも足を踏み入れていないこと。また、だれもその境地に到達していないこと。「前人未到」とも書く。

一所懸命(いっしょけんめい)：命がけで事にあたるさま。真剣に打ち込むさま。もともと、中世の時代に主君から賜った一か所の領地を命がけで守ることをいったことば。そこから「一生懸命」という語が派生し、いまでは同義語で使われる。

五月晴れ：本来は、陰暦5月の、梅雨の合間の晴天のことで、近年5月のすがすがしい晴天の意味でも使われる。

未明：まだ夜が明けきらない時分。気象庁の天気予報等では、午前0時頃から午前3時頃までを指す。

大雨：「著しい災害」が発生した場合やこれから降る雨に対して使われる。

豪雨：「著しい災害」が発生した場合にのみ使われるもの。これから降る雨に対して使われることはない。

○難読漢字(最終回)

①真面目

②眉唾もの

③只今

④東風

⑤南風

○11月下旬～3月の行事予定

※太文字は3年生入試関係分

- ・2学期末テスト 11/24(水)～26(金)
- ・1,2年生県学習状況調査 12/1(水) 2(木)
- ・3学期始業式 1/11(火)
- ・**県内 私立高校 後期試験 2/3(木)**
- ・**県立高校 一般選抜試験出願 2/21, 22**
- ・**県立一般選抜試験 3/8(火)、9(水)**
- ・**県立高校 一般選抜試験合格発表 3/15(火)**
- ・スタントマンによる交通安全教室 11/30(火)
- ・2学期終業式 12/24(金)
- ・**県内私立高校 推薦・前期試験 1/20(木)**
- ・**県立高校 特別選抜試験 2/8(火)**
- ・1,2年生学年末テスト2/22(火) 24(木) 25(金)
- ・第75回卒業証書授与式 3/11(金)
- ・1,2年生修了式、職員離任式 3/24(木)